

令和4年度 第13回青森市子ども会議

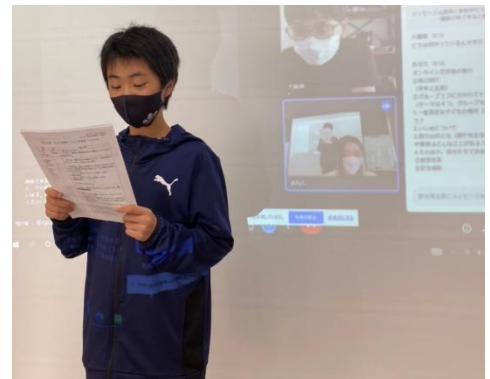
- 1 日 時 令和4年10月16日(日) 10時00分～14時00分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター2階 大集会室、旧子どもの権利相談センター
- 3 出席者 【青森市】会場参加：子ども会議委員7名、事務局3名
オンライン参加：子ども会議委員1名
【豊田市】会場参加：子ども委員21名、大学生サポーター9名、事務局4名
- 4 活動内容 (1) 豊田市とのオンライン交流会について
(2) グループ活動
(3) 豊田市とのオンライン交流会
1 開 会
2 グループワーク(自己紹介含む)
3 グループワークの内容を発表
4 閉 会

5 開催概要

今日は、豊田市と「子どもの権利」についてオンライン交流会を行います。豊田市は、青森市よりも先に子どもの権利条例が制定され、子どもの権利については先輩にあたるので、勉強させていただき気持ちで取り組みたいと思います。

豊田市とのオンライン交流会について

はじめに、豊田市とのオンライン交流会に向けて流れの説明や役割決めを行いました。司会は高校生委員、青森市の活動内容を発表する人は小学生委員2人、最後に交流会の感想を発表する人は小学生委員1人とすんなり決めることができました。発表練習を一度行い、グループワークで話すテーマについて説明を受け、あとは本番を待ちます。



グループ活動

次に、グループに分かれて活動を行いました。PCAPCAグループでは、子ども会議フォーラム2022に向けて、昨年度を参考にしながら発表原稿を作成しました。今日の出席は小学生委員のみでしたが、お互いに意見を出し合いながら進めていくことができました。

また、EEチームでは、来週に迫ったスポーツイベントについて話し合いました。

豊田市とのオンライン交流会

お昼休憩後、オンラインの接続準備をしながら豊田市の参加を待ち、みんなが揃ったところで青森市子ども会議の高校生委員の司会で交流会を始めました。

開会

はじめに、今年度の活動について発表しました。

〈豊田市の活動紹介〉

豊田市子ども条例は、平成19年の9月定例会で可決され、10月9日に公布されました。この公布を受け、翌年度の平成20年度から豊田市子ども会議がスタートしました。14年目を迎える今年度は、「楽しく文化やスポーツに親しむ方法を考えよう」をテーマに、31名の子ども委員と10名の大学生サポーターが活動しています。来年3月5日に予定されている市長報告会にて、活動内容の報告と市政への提案を実施するため、各グループが調査研究を行っています。

〈青森市の活動紹介〉

青森市子ども会議は現在、小学生10名、中学生6名、高校生9名、サポーター7名の計32名で活動しています。今年度の活動テーマは「青森市の〇〇をはっしん！」にしました。この「はっしん」には、青森市の魅力などを子どもならではの目線から市内外の人たちへ伝える「発信」と、魅力ある青森市をみんなと一緒に創り出すために新たな一歩を踏み出す「発進」の2つの意味があります。今年度は、この2つの「はっしん」をするために、2つのグループに分かれて活動をしています。

グループワーク

次に5つのグループに分かれて「子どもの権利」について話し合いを行いました。事前に決めたテーマの中から、各グループで好きな内容を選んで話し合いを行いました。



グループワークの内容を発表

①グループ：子どもの権利

子どもの権利とは、例えば、わがままを言ってもいい権利、学校で学ぶことができる権利、自由に遊ぶ権利などたくさんの意見が出た。結局、「子どもでも一人の人間として自由に何でもできる権利」ということだと思う。

②グループ：いじめ

いじめは些細なことから始まる。いじめをなくすためには、いじめられている子を多くの人で助けることや、友達のいいところを見つけることが必要だと思う。

③グループ：身近な子どもの権利

学校に行く権利、やりたいことを自由にできる権利、自由に遊ぶ権利、意見表明権が身近な権利として挙がった。「学区外に出たい！」などの自由になりたいという話で盛り上がった。

④グループ：周りの大人に伝えたいこと（校則）

校則で靴下の色や靴の色など決められているが、豊田市では、それらが自由になるなど年々変化しているところもある。校則を変えている学校では、生徒会が主体となって話し合いを行った。子どもと学校がきちんと話し合っ、過ごしやすい学校になればいいと思う。

⑤グループ：子どもの権利侵害

指定ジャージや制服、靴の色や髪形などの校則は「自分らしく生きる権利」が、お小遣いが少ないということは「社会を知る権利」が侵害されていると思う。

閉会

最後に、各市1人ずつから感想をもらい、スクリーンショットで記念写真を撮影して終了となりました。

青森市：オンラインでうまく話せないところはあったけど、自分の意見を豊田市のみんなに言えて良かったです。

豊田市：いじめの認識が青森市と豊田市で違うと思っていたけど、同じということがわかりました。



時間が短く、思うように話せないグループが多かったですが、「子どもの権利」について豊田市と意見交換を行うことができたのでとても良い経験になりました。